

## 「徳島県環境基本計画」改定に係るアンケート結果について

### 1 調査方法

- ①食品ロス削減イベント(県内3箇所で開催)の来場者
- ②とくしまエコパートナーである企業、団体の顧客・会員等
- ③とくしま環境県民会議会員等

### 2 アンケート実施日

- ①平成30年10月17日、10月21日、11月23日
- ②平成30年11月中
- ③平成30年11月中

### 3 回収状況

204名 ( ①71名、②58名、③75名 )

性別：	男性109名、女性91名、不明4名
年齢：	20歳未満 23名、20歳代 26名、30歳代 29名、40歳代 38名
	50歳代 36名、60歳代 26名、70歳以上 22名、不明 4名

### 4 アンケート結果について

- ①現在の環境の状況について、満足していることは何ですか？

	選択肢内容	人数	回答割合
1	歴史的・文化的な環境が保全されている	88	43.1%
2	家庭ごみなどの廃棄物の削減やリサイクルが推進されている	82	40.2%
3	太陽光発電等の自然エネルギーの利用が広がっている	78	38.2%
4	川や海などのきれいな水環境が保全されている	76	37.3%
5	騒音・振動・悪臭等が防止されている	69	33.8%
5	森林等身近な自然環境が保全されている	69	33.8%
7	環境教育・環境学習が推進されている	68	33.3%
8	大気環境が保全されている	66	32.4%
8	市民による環境保全活動が推進されている	66	32.4%
10	希少な野生生物の保護や外来種対策が行われている	55	27.0%
11	省エネ型ライフスタイルへの転換が図られている	54	26.5%
計			204名中

## 資料5

### ②現在の環境の状況について、満足していないことは何ですか？

	選択肢内容	人数	回答割合
1	川や海などのきれいな水環境が保全されている	78	38.2%
2	希少な野生生物の保護や外来種対策が行われている	71	34.8%
3	家庭ごみなどの廃棄物の削減やリサイクルが推進されている	65	31.9%
4	騒音・振動・悪臭等が防止されている	64	31.4%
5	森林等身近な自然環境が保全されている	63	30.9%
6	省エネ型ライフスタイルへの転換が図られている	56	27.5%
7	太陽光発電等の自然エネルギーの利用が広がっている	53	26.0%
7	大気環境が保全されている	53	26.0%
9	環境教育・環境学習が推進されている	51	25.0%
10	市民による環境保全活動が推進されている	50	24.5%
11	歴史的・文化的な環境が保全されている	42	20.6%
計			204名中

### ③今後5年間で、徳島県が重点的に取り組むべきと考えられる環境分野は何ですか？

	選択肢内容	人数	回答割合
1	地球温暖化対策	83	40.7%
2	家庭ごみなどの廃棄物の削減やリサイクルの推進	78	38.2%
3	水環境の保全	76	37.3%
4	災害時の環境影響の把握や災害廃棄物処理対策	65	31.9%
5	環境教育・環境学習の推進	51	25.0%
6	森林等身近な自然環境の保全	44	21.6%
7	吉野川等の自然環境や歴史的・文化的環境のPR	40	19.6%
8	エシカル消費（選択消費）の推進	38	18.6%
9	省エネ型社会へライフ・ビジネススタイルの転換	37	18.1%
10	太陽光発電等の自然エネルギーや水素エネルギーの導入促進	35	17.2%
11	騒音・振動・悪臭等の防止	31	15.2%
12	大気環境の保全	30	14.7%
12	県民や事業者等の連携による環境保全活動の推進	30	14.7%
14	希少な野生生物の保護や外来種対策	25	12.3%
15	土壌・地盤環境の保全	23	11.3%
16	その他	3	11.3%
17	特になし	3	11.3%
計			204名中